



西牧野小だより

7月

夏休み号

枚方市立西牧野小学校通信

TEL 050-7102-9116

FAX 072-851-0035

令和8年7月17日

校長 青木 智充

本日、1学期の終業式を無事に迎えることができました。これもひとえに、皆様からの温かいご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

今学期は、学級懇談会、土曜参観、引き渡し訓練、個人懇談会と、多岐にわたる活動にご協力いただきました。また、日頃から子どもたちの安全を見守ってくださったこと、重ねてお礼申し上げます。皆様のご理解とご協力がなければ、この日を迎えることはできませんでした。

明日からは38日間の夏休みが始まります。長期のお休みとなりますので、お子様たちが事件や事故に巻き込まれることのないよう、安全第一でお過ごしいただけますようお願いいたします。

また、健康な体を保つためには、生活リズムを崩さないことが非常に重要です。「早寝・早起・朝ごはん」を心がけ、元気いっぱいの楽しい夏休みを過ごしてほしいと願っています。

ご家庭や地域の皆様には、引き続きのご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



これまでの本校の教育活動・取組を振り返る

「自らの人生を舵取りする力（自走力）」を育むために

—— 一斉授業からの脱却・子どもが主役の学校づくりへの挑戦 ——

1学期、子どもたちは日々、様々な学習活動に主体的に取り組み、生き生きとした表情で豊かな学校生活を送ってくれました。保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動への温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

現在、教育界では「次期学習指導要領」を見据えた議論が進められております。予測困難な未来を生き抜くために、子どもたち自身が秘めた可能性を開き、「自らの人生を舵取りする力（自走力）」を育むことが、今後の教育の中核的な目標として位置づけられています。

本校ではこれに先駆け、従来の「一斉授業」から脱却し、「子どもが主役の学校づくり」を目指した授業改革に挑戦してまいりました。今学期のこれまでの成果、そして見えてきた次の課題と、私たちが大切にしている教育への想いをお伝えいたします。

1. 「当たり前」を外したその先へ：本当に大切なことを見極める

これまで学校の常識とされてきた「全員が同じ時間に同じ問題を解く」「めあてや授業の進め方をすべて先生が決定する」といった教育スタイルを見直す試みを進めています。しかし、単に「これまでのやり方をやめれば、それだけで全てが上手くいく」というわけではありません。同時に、これまでのやり方に留まり続けることが、子どもたちの未来の力になるとも考えておりません。

古いから悪い、新しいから良いという二元論ではなく、「何が子どもたちにとって本当に大切なのか」を私たちは常に問い直しています。教え込むことだけが教師の役割ではなく、子どもたち一人ひとりがのびのびと学び、自分らしく探究を展開できるよう、安心できる「環境」を整えることこそが、これからの学校に求められる役割です。

2. 「自分で選んで学ぶ子」を育てる ～低学年からの小さな一歩～

学校教育において、一斉授業で基礎・基本をしっかりと教えることはもちろん重要です。しかし、学年が上がるにつれて、自分自身で学びを進めていく「自走力」を身につけるためには、低学年のうちから「自分で学び方を選ぶ」「自分に合った方法を選択する」という経験の幅を広げてあげることも極めて大切です。

「自分で選ぶ」と言っても、決して子どもたちに丸投げするわけではありません。私たちは授業の中で、子どもたちの以下のような「きらりと光る姿」を丁寧に見守り、価値づけ、次の成長へとつなげています。

★ 私たちが授業で見守り、育んでいる子どもの姿

- 比べる楽しさ：「友達の考えと自分の考えを比べると面白い！」と感じている姿
- 多面的な発見：一つの物事を、いろいろな角度から見つけている姿
- 算数のヒラメキ：算数の授業で「数学的な見方・考え方」を働かせている姿
- プロセスの共有：答えを出すまでの道のりを、仲間と楽しそうに分け合っている姿
- 視野の広がり：他者の意見を聞き入れ、「なるほど！」と自分の考えを柔軟に広げていく、他者と関わるおもしろさを実感する姿。
- 試行錯誤する力：「自分にはこっちのやり方が合っているかも」と、失敗を恐れず自ら最適な学び方を試す姿

【保護者の皆様へのご報告とお詫び】

本校では、子どもたちが主役となる学校づくりを目指し、「自由進度的な学習」など、これまでにない新しい教育実践に挑戦してまいりました。主体的に学ぶ子どもたちの姿が見られるようになった一方、指導や共有の方法において大きな課題も見えてまいりました。

本来、教師が子どもたちに学びを「委ねる」授業を行う際には、「ここから先は自分たちで進められる」という確かな見取りと見極め、そしてその判断理由を事前に子どもたちや保護者の皆様に丁寧に説明し、共有すべきでございました。このプロセスが十分に届かないまま学習が進められ、ご心配をおかけしましたことをお詫び申し上げます。また、そのような状況の中でも本校の教育方針をご理解いただき、温かく見守ってくださいましたことに、心より感謝申し上げます。

今後は、自分たちで進めた結果として「どこまで理解が深まったのか」「どのような力が身に

ついたのか」を子どもたち自身にも分かりやすく可視化・還元できるよう、教員の研修を一層重ねてまいります。

3. 子どもの学びを「見取る」教師の目、そして保護者の皆様との共有

私たちは、子どもたちの「振り返り（キャリアパスポートを含む）」の質を大切にしています。単に「何回できた」「何ページ進んだ」という量や進度だけの振り返りは本質的な学びにはつながりません。「自分がよりよく学んでいくためには、この方法が合っている」「こう進めると理解が深まる」というように、自身の学び方そのものを見つめ直し、深化させる力を育てたいと考えています。

その日の体調や調子に合わせて、自分自身で学習環境を整える「自己調整力」は、今後の学びを支える一生の財産となります。この力は学力向上に留まらず、自分たちの生活を自分たちでより良くしていく力（自立）に繋がります。ぜひご家庭での学習や生活におきまして、お子様が自ら判断し、調整していく姿を温かく見守り、支えていただけますと幸いです。

4. 本校が目指す「学びの本当の目的」

形だけの活動に終わらせず、意味のある深い学びへとつなげるため、本校では教育活動の目的を以下のように捉え直しています。

① 自由進度的な学習を実施する場合の目的

これまで：自由進度表を終わらせる

現在進行中：自分に合った進め方を見つけ、自分で学びを調整できるようにする

② PBL（課題解決型学習）の目的

これまで：発表物をきれいに仕上げる

現在進行中：問いを持って調べて試し、他者と関わりながら意味をつくり続ける

③ 特別活動（休み時間の取組・学級活動・クラブ・委員会・行事など）の目的

これまで：話し合いの回数をこなす

現在進行中：自分たちで決めて実行し、自分たちの学校生活を自分たちでより良くしていく

5. 「子どもの主体性」を奪わないために

私たち教師が先回りして「問い」や「手順」をすべて決めてしまったり、失敗を恐れて間違える前に止めてしまったり、迷っている時間を待たずに正解を与えてしまったりは、子どもの主体性は育ちません。子どもが自ら疑問にぶつかり、じっくりと試行錯誤するからこそ、本質的な「問い」が生まれます。

時には、仲間と存分に語り合っ良い時間、あえてノートに「書かない」時間があっても良いと考えています。書くこと自体が目的ではなく、自らの学びを見つめ直すための「振り返り」であるならば、そのアウトプットの方法は多様であって当然です。「他者と関わると面白い!」という原体験を、授業や諸活動を通して数多く積ませてまいります。

6. さらなる高みへ：私たちが挑戦し続ける「次の課題」

改革を進める中で、私たちはさらなる教育の質の向上を目指し、以下の課題に対して教職員一丸となって具体的なアプローチの開発と研修を進めてまいります。

①教科授業での具現化:「子どもたちが自分らしく生きるための力」を日々の国語や算数などの教科授業でどう活かし、引き出していくか

②主体的な学びのデザイン:子どもが「やってみたい」と熱中し、自走し始められるような授業・活動の設計

③学びのバランス:自分のペースで進める「自由進度的な学習」と、全員で深め合う「一斉授業」の最適な融合

④PBLの再定義:単なる調べ学習や制作活動で終わらず、本質的に探究し続けるための目的の洗練

⑤振り返りと環境:自己評価を深める「振り返り」の質の向上と、それを支える安心安全な教室環境づくり

⑥問いを育てる具体的手立て:子どもたちの「なぜ?」「もっと知りたい」という質の高い問いを誘発し、育てる技術

⑦デジタルとアナログ:タブレット端末の高度な活用と、思考を整理するためのノート指導のベストバランス

学校の当たり前を見直し、教員が柔軟に授業をデザインすることで、子どもたちの学びの工夫は無限に広がっていきます。

これからも、子どもたちが自らの人生をたくましく舵取り（自走）していけるよう、全教職員が情熱を持って取り組んでまいります。

保護者の皆様におかれましても、引き続き本校の教育改革へのご理解と、家庭での温かいサポートをどうぞよろしくお願い申し上げます。

皆様にとって、安全で、笑顔あふれる素敵な夏休みとなりますことを心より祈念しております。

【重要】夏季休業中の施設工事および登校時間・来校方法に関するお願い

さて、夏季休業中における管理棟の空調工事、および地域の方々からのご意見を踏まえた安全確保について、重要なお知らせとお願いがございます。以下の内容をご確認いただき、ご家庭でのご協力をお願い申し上げます。

1. 夏季休業中の空調工事に伴う特別教室の使用不可について

夏季休業中、管理棟の空調工事を実施いたします。期間中は足場が組まれるなど、安全面への配慮が必要となります。

工事期間： 7月18日（土）～ 8月24日（月）

対象となる特別教室（使用不可）： 図書室・音楽室・家庭科室・理科室・図工室

お願い： 期間中に学校施設を利用される方は、足場等に近づかないよう十分お気をつけください。

2. 朝の登校時間（入校時間）の遵守について

日頃より児童の登校を見守ってくださっている地域の方より、大切なご意見をいただきましたので共有いたします。

【地域の方からのご意見】

入校時間は「8時10分～20分」と決まっており、その10分間であれば毎日見守ることは負担になりません。しかし、早い児童では7時55分頃から登校しており、見守る時間が長くなってしまっています。

ボランティアでお子様の安全を守ってくださっている地域の皆様の思いを受け止め、再度ご家庭にて登校時間のルール（8時10分～20分の間に入校する）をご確認ください。

早すぎる登校は、見守り体制が整っていない時間帯の安全確保にもつながります。ご協力をお願いいたします。

3. 自家用車での来校・送迎の見直しについて

現在、朝の登校時や留守家庭児童会（学童）のお迎え時、また個人懇談の期間中において、自家用車での来校・送迎が増加しております。

お仕事やご家庭のスケジュール、天候など、ご家庭ごとに様々なご事情があることとお察しいたします。しかしながら、学校周辺の道路混雑や、児童との接触事故を防ぐためにも、今一度、来校方法の見直しをお願いいたします。

（※本件につきまして、個別のご意見・ご事情をお伺いするものではありません）

お子様と地域全体の安全のため、ご家庭ごとに「今できること」を考えていただき、自家用車での来校を極力控えていただきますようお願い申し上げます。

※万が一、敷地内および学校周辺で事故を起こされた場合、学校は一切の責任を負いかねます。あらかじめご承知おきください。

4. オンラインゲームやLINE等での児童間トラブルについて

スマートフォンやタブレット等で、オンラインゲームやLINEなどのSNS利用を許可しているご家庭へのお願いです。

過去に「LINEグループ内で暴言や不適切な画像が送られてくるので、相手の児童や保護者に注意してほしい」といったご相談が学校に寄せられることがありました。

このようなプライベートにおけるネットトラブルにつきましては、まずは各ご家庭において、端末の使用制限（フィルタリング設定）や、該当グループからの退会・ブロック等をご検討・ご対処いただきますようお願いいたします。保護者の管理・責任のもと、日頃からの利用状況の確認とご指導をお願いいたします。

（学校貸与 iPad について）

学校が貸与している iPad を使用した学校外でのネットトラブル、およびいじめ事案全般につきましては、学校が速やかに関与し、適切な指導を行います。トラブルが発生した際、またはお気づきの点がございましたら学校までご相談ください。